

資源ファンド(株式と通貨) ブラジルリアル・コース

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第192期(決算日2025年7月17日) 第193期(決算日2025年8月18日) 第194期(決算日2025年9月17日)
第195期(決算日2025年10月17日) 第196期(決算日2025年11月17日) 第197期(決算日2025年12月17日)

作成対象期間(2025年6月18日～2025年12月17日)

第197期末(2025年12月17日)	
基準価額	2,734円
純資産総額	7,833百万円
第192期～第197期	
騰落率	28.2%
分配金(税込み)合計	18円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要な事項にかかる情報を記載したものです。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「資源ファンド(株式と通貨)ブラジルリアル・コース」は、2025年12月17日に第197期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として世界の資源株に実質的に投資を行ない、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<941115>

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.amova-am.com

2025年9月1日付で、日興アセットマネジメント株式会社から社名変更しました。

当運用報告書に関するお問い合わせ先

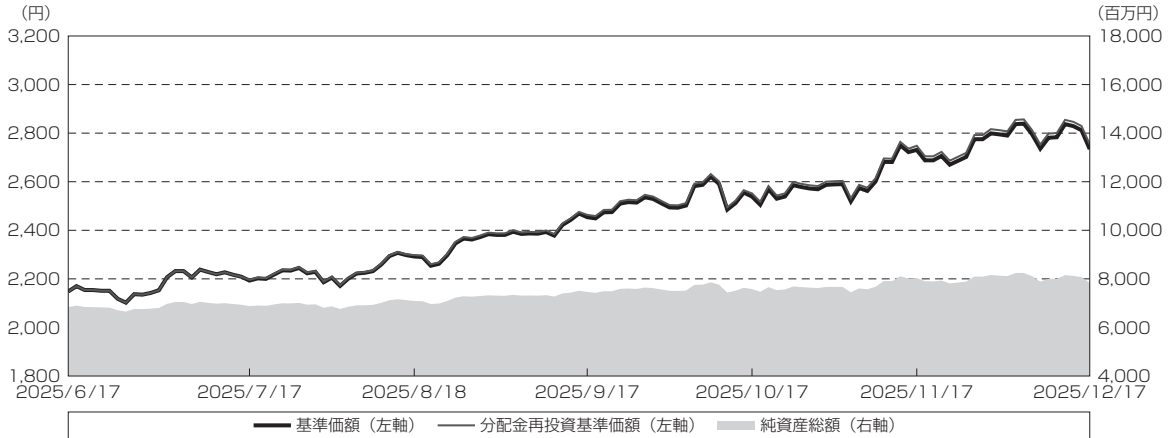
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2025年6月18日～2025年12月17日)



第192期首：2,148円
 第197期末：2,734円 (既払分配金 (税込み)：18円)
 騰落率：28.2% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首 (2025年6月17日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として世界の資源株に実質的に投資を行ない、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行なっております。また、原則として、ブラジルリアル買い/米ドル売りの為替取引を行なうことで、実質的にブラジルリアル建てで運用を行ないます。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・金の価格が上昇したこと。
- ・電力需要が構造的に拡大したこと。
- ・米国経済が底堅く推移したこと。
- ・ブラジルリアルが対円で上昇したこと。

<値下がり要因>

- ・米国の関税政策を巡る不透明感が広がったこと。
- ・商品市況の価格変動性が高まったこと。

1 万口当たりの費用明細

(2025年6月18日～2025年12月17日)

項 目	第192期～第197期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 13	% 0.552	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(2)	(0.094)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(11)	(0.441)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受託会社)	(0)	(0.017)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	0	0.017	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷費用等)	(0)	(0.014)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など
合 計	13	0.569	
作成期間の平均基準価額は、2,433円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

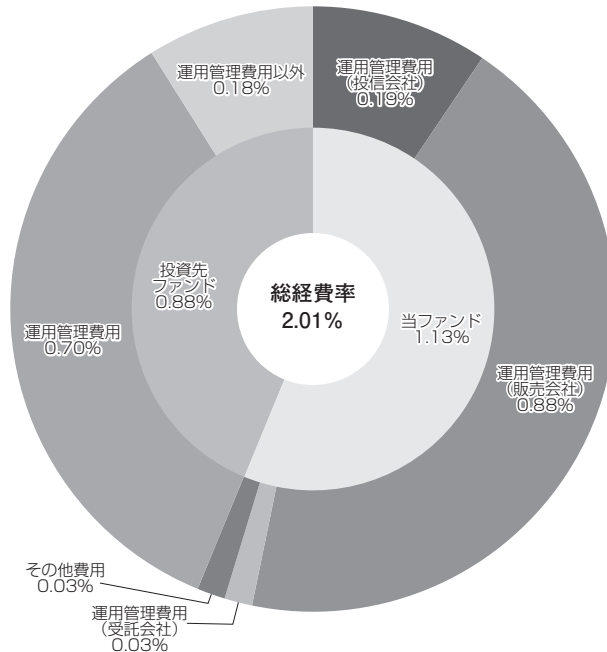
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.01%です。



(単位：%)

総経費率 (①+②+③)	2.01
①当ファンドの費用の比率	1.13
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.70
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.18

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

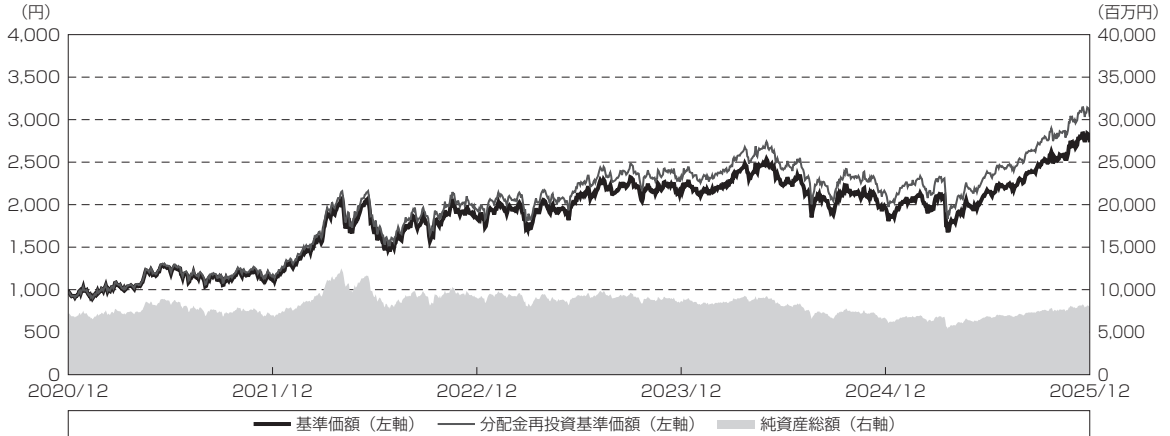
(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2020年12月17日～2025年12月17日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2020年12月17日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2020年12月17日 決算日	2021年12月17日 決算日	2022年12月19日 決算日	2023年12月18日 決算日	2024年12月17日 決算日	2025年12月17日 決算日
基準価額 (円)	952	1,141	1,843	2,148	1,918	2,734
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	36	36	36	36	36
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	23.7	65.0	18.6	△9.2	44.9
純資産総額 (百万円)	7,102	7,034	9,053	8,546	6,455	7,833

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

（2025年6月18日～2025年12月17日）

（株式市況）

海外株式市場では、期間の初めと比べて米国や欧州各国などの株価は総じて上昇しました。

米国の関税政策を巡る混乱を受けた投資家の中長期的な投資意欲の落ち込み懸念が高まったことや、インフレ再燃への警戒感などから欧米の長期金利が概して上昇したことなどが株価の重しとなったものの、米国との貿易交渉において、日本に続き欧州連合（EU）とも当初の関税率を引き下げることで合意されたことや、米国と中国による互いに課した追加関税の引き下げや、両国の首脳会談を受けて貿易摩擦が緩和したこと、イスラエルとイランが停戦に合意し投資家のリスク選好姿勢が強まったこと、生成AI（人工知能）向け半導体需要を追い風に関連企業の業績拡大への期待が高まったこと、米国連邦準備制度理事会（FRB）が雇用の下振れリスクの増大を踏まえて追加利下げを実施したことなどが株価の支援材料となり、米国や欧州各国などの株価は総じて上昇しました。

期間中の主要商品の価格は期間の初めと比べてまちまちの動きとなりました。

原油価格は、中東情勢の緊迫化で供給懸念を受けて上昇する局面があったものの、その後の停戦合意による不安が後退したことに加え、主要産油国の増産決定や供給過剰懸念が強まったことなどから下落しました。天然ガスの価格は、夏場にかけて天候要因から需要が鈍り軟調に推移した場面があったものの、液化天然ガス（LNG）向け需要の伸びや寒冷期入りに伴う需要増が支えとなり、上昇しました。金の価格は関税政策を巡る景気の不透明感や、地政学的リスク、米国の利下げ期待、金を証券化した上場信託（ETF）への資金流入などが追い風となり上昇しました。銀の価格も太陽光発電に関連した需要などが支援材料となり大きく上昇しました。主要非鉄金属の価格は、生成AI向けデータセンターの拡大に伴う電力需要増への期待を背景に、銅やアルミニウムなどが上昇しました。主要穀物の価格については、天候による需給と通商要因が交錯し、小麦が下落する一方で、大豆、トウモロコシは上昇しました。

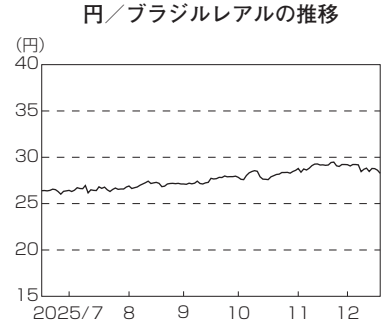
（国内短期金利市況）

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの0.48%近辺からほぼ横ばいの推移となり、0.48%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの0.43%近辺から徐々に上昇し、0.59%近辺で期間末を迎えました。

（為替市況）

期間中におけるブラジルリアル（対円）は、右記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

(2025年6月18日～2025年12月17日)

（当ファンド）

当ファンドは、収益性を追求するため、「ナチュラル・リソース・ファンド ブラジルリアル・クラス」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

（ナチュラル・リソース・ファンド ブラジルリアル・クラス）

期間中のファンドのパフォーマンスについては、金の価格が大幅に上昇するなかで、金に関連する銘柄の投資比率を高めとしていたことや、また、その銘柄選択が奏功しました。

期間中の主な投資行動としては、Badger Meterを新規に組み入れました。同社は、スマート水道メーター及びソフトウェアソリューションの主要なプロバイダーです。北米市場では業界が高度に統合された寡占状態にあり、同社は30%の市場シェアで首位となっています。老朽化したインフラの更新需要や、清潔な水の供給、水道事業者のコスト削減、システム分析の深化を可能にするデジタルソリューションのニーズなど複数の構造的な追い風により、堅調な売上と利益成長が持続すると見込まれます。同社の売上の大部分は修理・交換需要によるもので、安定した収益源となっています。また、同社は強固なバランスシートを有し、能力拡大のための企業買収を継続しています。また、原子力発電の再評価やウラン価格の持続的上昇などを背景に、Cameco Corporationへも新規に投資を開始しました。同社は、ウラン業界のグローバルリーダーとして、高品質なウラン採掘資産や、核燃料棒の製造を含む精製などの能力を有し、業界への包括的な投資先とみています。

また、原則として、ブラジルリアル買い／米ドル売りの為替取引を行なうことで、実質的にブラジルリアル建てで運用を行ないました。

（マネー・オープン・マザーファンド）

運用の基本方針に従い、国債の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2025年6月18日～2025年12月17日）

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

（2025年6月18日～2025年12月17日）

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第192期	第193期	第194期	第195期	第196期	第197期
	2025年6月18日 ～2025年7月17日	2025年7月18日 ～2025年8月18日	2025年8月19日 ～2025年9月17日	2025年9月18日 ～2025年10月17日	2025年10月18日 ～2025年11月17日	2025年11月18日 ～2025年12月17日
当期分配金	3	3	3	3	3	3
（対基準価額比率）	0.137%	0.131%	0.122%	0.118%	0.110%	0.110%
当期の収益	0	0	0	0	0	0
当期の収益以外	2	2	2	2	2	2
翌期繰越分配対象額	3,741	3,738	3,735	3,732	3,729	3,726

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

（注）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、「ナチュラル・リソース・ファンド ブラジルリアル・クラス」受益証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

（ナチュラル・リソース・ファンド ブラジルリアル・クラス）

天然資源市場では、世界経済の不確実性や供給構造の変化、また地政学的リスクなどが影響し、ますます複雑化するなか、微妙な均衡が保たれるとみています。欧州やアジアの一部では成長が鈍化する一方、米国の製造業には安定化の兆しがあり、世界の産業活動に部分的な改善が確認されています。金融政策は依然として引き締め基調と認識しているものの、今後、数四半期のうちに一部の国では緩和が進み、特定の資源の需要を下支えすると予想されます。世界経済の減速局面では、コモディティ関連株は高成長のセクターに劣後する可能性があります。低コストで取得した資産や健全な財務基盤を持ち、エネルギー転換、電化、電力需要の増加、食料安全保障などの構造的なテーマに関わりのある企業は、相対的に有利な立場にあると考えます。当ファンドでは、市場の変動により起こり得る投資機会を探求し、それらに積極的に取り組んでいく方針です。

主として世界の資源株に投資を行ない、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。また、原則として、ブラジルリアル買い／米ドル売りの為替取引を行なうことで、実質的にブラジルリアル建てで運用を行ないます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

（マネー・オープン・マザーファンド）

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

約款変更について

2025年6月18日から2025年12月17日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

当ファンドについて、2025年9月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。

- ①委託会社である当社がその社名を「日興アセットマネジメント株式会社」から「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。（第1条、第15条）
- ②当社の社名変更に伴ない、電子公告を掲載する当社ホームページのURLを「www.nikkoam.com/」から「www.amova-am.com」に変更いたしました。（第48条）

その他の変更について

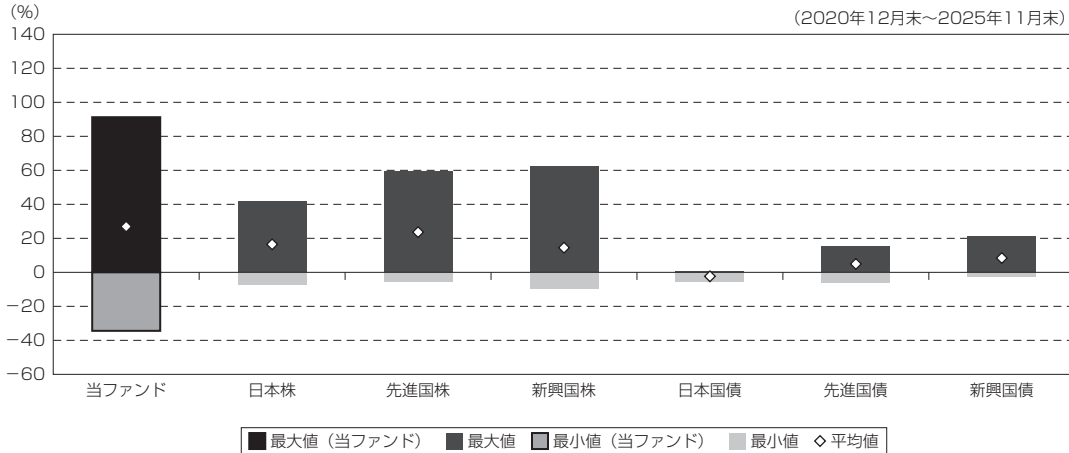
当ファンドが投資対象とするケイマン籍円建外国投資信託「ナチュラル・リソース・ファンド ブラジルリアル・クラス」につき、2025年9月1日付けにて投資顧問会社である「日興アセットマネジメント アメリカズ・インク」がその社名を「アモーヴァ・アセットマネジメント・アメリカズインク」に変更いたしました。また、管理会社である「日興AMグローバル・ケイマン・リミテッド」がその社名を「アモーヴァAM・グローバルケイマンリミテッド」に変更いたしました。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2009年7月31日から2029年6月15日までです。
運用方針	主として、世界の資源関連企業が発行する株式を投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	「ナチュラル・リソース・ファンド ブラジルリアル・クラス」受益証券 「マネー・オープン・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	主として、世界の資源株に投資を行なうとともに各コースの通貨で実質的な運用を行なう投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざします。世界の米ドル建て資源関連株式（預託証券を含みます。）を実質的な投資対象とします。銘柄選択にあたっては、企業の財務データなどに基づく定量分析と業界内での競争力や経営者のマネジメント能力の評価といった定性分析を実施します。原則として、ブラジルリアル買い／米ドル売りの為替取引を行ないます。
分配方針	第1計算期は収益分配を行ないません。第2計算期以降、毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	91.2	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	△34.4	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△5.5	△ 6.1	△ 2.7
平均値	26.9	16.5	23.6	14.5	△2.3	4.9	8.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年12月から2025年11月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX（東証株価指数）配当込み

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPMorganGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ヘッジなし、円ベース）

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●TOPIX（東証株価指数）配当込みは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社J.P.X総研又は株式会社J.P.X総研の関連会社に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われるアモヴァ・アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JPMorganGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ヘッジなし、円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2025年12月17日現在)

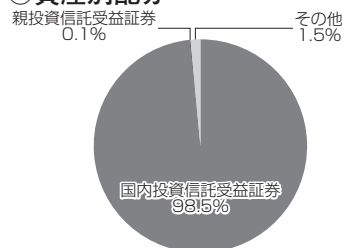
○組入上位ファンド

銘柄名	第197期末
	%
ナチュラル・リソース・ファンド ブラジルリアル・クラス	98.5
マネー・オープン・マザーファンド	0.1
組入銘柄数	2銘柄

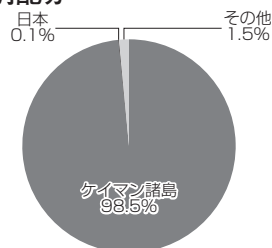
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

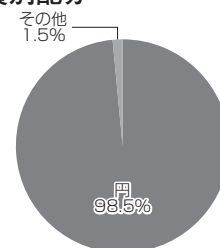
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 国内投資信託受益証券には外国籍（邦貨建）の受益証券を含めております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第192期末	第193期末	第194期末	第195期末	第196期末	第197期末
	2025年7月17日	2025年8月18日	2025年9月17日	2025年10月17日	2025年11月17日	2025年12月17日
純資産総額	6,880,180,506円	7,089,118,483円	7,460,339,261円	7,580,294,338円	8,034,375,474円	7,833,619,023円
受益権総口数	31,374,625,651口	30,933,882,047口	30,399,843,928口	29,858,988,769口	29,421,385,734口	28,650,446,230口
1万円当たり基準価額	2,193円	2,292円	2,454円	2,539円	2,731円	2,734円

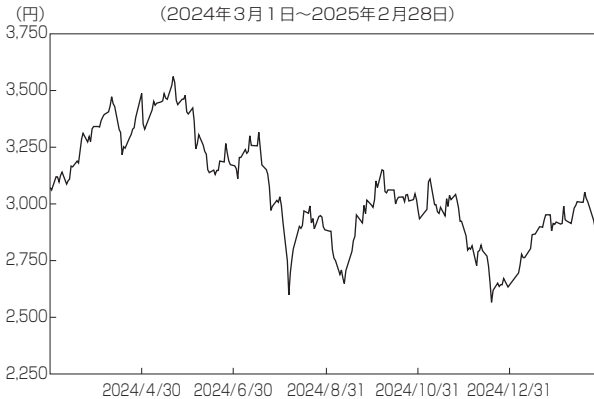
(注) 当作成期間（第192期～第197期）中における追加設定元本額は159,259,722円、同解約元本額は3,330,427,416円です。

組入上位ファンドの概要

ナチュラル・リソース・ファンド ブラジルリアル・クラス

【基準価額の推移】

(2024年3月1日～2025年2月28日)



(注) グラフは分配金再投資基準価額です。

【1万口当たりの費用明細】

(2024年3月1日～2025年2月28日)

当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため掲載しておりません。

【組入上位10銘柄】

(2025年2月28日現在)

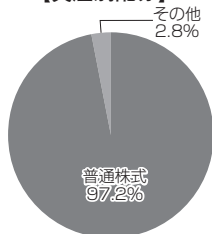
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率 %
1	Shell Plc ADR	普通株式	アメリカドル	イギリス	5.1
2	Exxon Mobil Corp.	普通株式	アメリカドル	アメリカ	4.6
3	Corteva Inc.	普通株式	アメリカドル	アメリカ	4.5
4	Nutrien Ltd.	普通株式	アメリカドル	カナダ	4.0
5	BHP Group Ltd.	普通株式	アメリカドル	オーストラリア	4.0
6	Freeport-McMoRan Inc.	普通株式	アメリカドル	アメリカ	3.4
7	Linde Plc	普通株式	アメリカドル	アイルランド	3.4
8	TotalEnergies S.E. ADR	普通株式	アメリカドル	フランス	3.3
9	Rio Tinto Plc ADR	普通株式	アメリカドル	イギリス	3.0
10	Alamos Gold Inc.	普通株式	アメリカドル	カナダ	3.0
組入銘柄数		69銘柄			

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

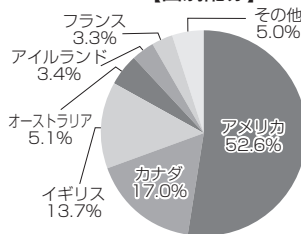
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

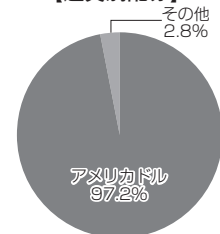
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



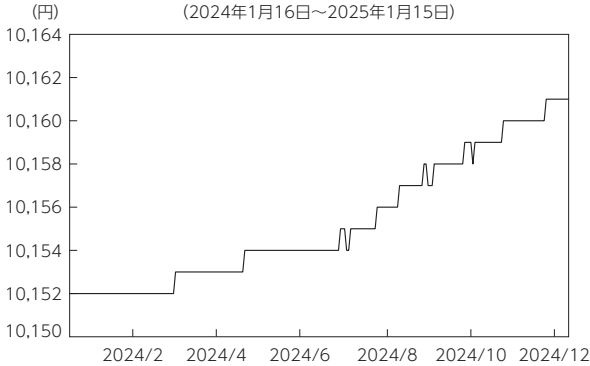
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

マネー・オープン・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2024年1月16日～2025年1月15日)



【1万口当たりの費用明細】

(2024年1月16日～2025年1月15日)

該当事項はございません。

【組入上位10銘柄】

(2025年1月15日現在)

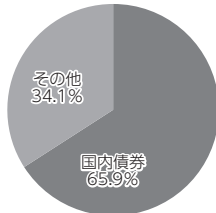
	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国(地域)	比率 %
1	第445回利付国債(2年)	国債証券	円	日本	65.9
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-
組入銘柄数			1銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

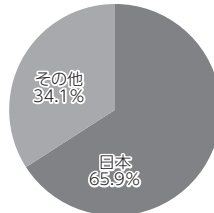
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

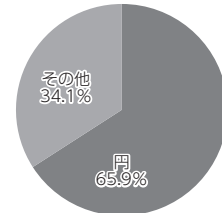
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

資源ファンド（株式と通貨）ブラジルリアル・コース

【貸借対照表】

(単位：円)

	前期 2025年6月17日現在	当期 2025年12月17日現在
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	95,998,456	132,977,592
投資信託受益証券	6,739,791,410	7,713,192,649
親投資信託受益証券	5,618,559	5,631,257
未収入金	28,405,902	32,292,307
未収利息	1,276	1,772
流動資産合計	6,869,815,603	7,884,095,577
資産合計	6,869,815,603	7,884,095,577
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	9,546,484	8,595,133
未払解約金	17,080,825	33,524,410
未払受託者報酬	169,094	218,022
未払委託者報酬	5,467,693	7,049,707
その他未払費用	1,959,108	1,089,282
流動負債合計	34,223,204	50,476,554
負債合計	34,223,204	50,476,554
純資産の部		
元本等		
元本	31,821,613,924	28,650,446,230
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金 (△)	△24,986,021,525	△20,816,827,207
元本等合計	6,835,592,399	7,833,619,023
純資産合計	6,835,592,399	7,833,619,023
負債純資産合計	6,869,815,603	7,884,095,577

【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	前期		当期	
	自	2024年12月18日 至 2025年6月17日	自	2025年6月18日 至 2025年12月17日
営業収益				
受取利息		197,104		267,326
有価証券売買等損益		841,509,198		1,879,147,820
営業収益合計		841,706,302		1,879,415,146
営業費用				
受託者報酬		1,059,265		1,224,627
委託者報酬		34,251,706		39,598,325
その他費用		1,329,822		1,223,454
営業費用合計		36,640,793		42,046,406
営業利益又は営業損失 (△)		805,065,509		1,837,368,740
経常利益又は経常損失 (△)		805,065,509		1,837,368,740
当期純利益又は当期純損失 (△)		805,065,509		1,837,368,740
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額 (△)		854,567		16,685,705
期首剰余金又は期首欠損金 (△)		△27,203,842,818		△24,986,021,525
剰余金増加額又は欠損金減少額		1,555,219,670		2,521,824,636
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		1,555,219,670		2,521,824,636
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		－		－
剰余金減少額又は欠損金増加額		83,192,669		119,121,605
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		－		－
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		83,192,669		119,121,605
分配金		58,416,650		54,191,748
期末剰余金又は期末欠損金 (△)		△24,986,021,525		△20,816,827,207